



KAKUNOSHIN OHTA
RACE REPORT

2023 SUPER FORMULA Rd.4

2023.05.20-21 AUTOPOLIS



はじめに

前戦の鈴鹿大会から1ヶ月のインターバルを挟み、SUPER FORMULA第4戦、オートポリス大会を迎えました。ここまでの3レースで苦戦を強いられている我々は、このインターバルを最大限に活用し今大会への準備を進めました。レースウィークでの細かい調整から大きな変更までを想定したミーティングを何度も重ね、今まで以上の意気込みを持って現地に向かいました。

5月20日(土) フリープラクティス

公式練習では事前にチームと決めたランプランを進めて行きました。

ランプランを進めるにつれて、徐々にセットアップが煮詰まっていく実感がありよかったです。ドライビングをできるだけ早く最適な領域に持っていこうという気持ちが強く出てしまい、2度グラベルに出てしまったことに関しては反省点です。SFでの初めてのオートポリスは、富士や鈴鹿よりも低いグリップ感の中でマシンを操る能力が試され、チャレンジングだと感じました。

5月20日(土) 予選

練習走行でのフィーリングをもとに、予選に向けては大きめにセットアップを変更して臨みました。前戦では、自身のアタック前に後ろの車両と交錯したことで満足なアタックができませんでしたが、今回の予選はウォームアップ時に無線を最大限活用してチームとの連携をうまく取ることができました。アタック中に赤旗が出てしまい、その後再開してから1週のタイム合戦となりました。セクター1、セクター2はQ1カットラインよりも速いペースで走れており、よかったです。セクター3でタイムを落としてしまいQ1敗退となりました。Q1を通過できるポテンシャルはあったのですが、それを実現できず悔しいですし、次戦以降の予選パフォーマンスを上げられるようにドライビング面の研究をより一層行いたいと思っています。

5月21日(日) 決勝

富士大会、鈴鹿大会ではレースでのペースに大きな課題があったので、今大会はレースセットを大きく変えて臨みました。スタートでポジションを3つ上げ、そこから前の車とバトルをしながら周回を重ねました。前大会までは5周目あたりから大きくペースが落ち、苦しい展開でしたが、今回はペースの落ちも少なく十分に戦える感触がありました。ピットストップ後もトップ集団と戦えるようなタイムで周回ができたことは非常にポジティブです。結果としては、ピットストップでタイヤ交換のトラブルが起きてしまいポイント獲得はできませんでしたが、これまでのレースとは違い、良い内容だったため次戦以降にこの結果を活かしたいと思っております。

おわりに

チームと可能な限りの準備をして臨んだ今大会は、結果は良くなかったものの次戦以降に向けた収穫の多いレースになりました。欲しい結果からは程遠く、悔しい気持ちは大きいですが、チームと共に努力していることが少しずつ結果に出始めているので、次戦に向けてまた準備を進めて行きます。絶対にトップを取るために頑張りますので引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。



